

平成27年度 日野市立仲田小学校経営重点計画				自己評価シート		平成28年3月公表	
★学校教育目標						★重点計画の概要	
◎すすんで学ぶ子 ○からだをきたえる子 ○思いやりのある子 ○最後までやりぬく子						① 「すべては、子供たちのために」という気持ちを絶えずもつ。 ② 「合いの教育（学び合い、助け合い、認め合い、支え合い、話し合い等）」の充実を図る。 ③ 失敗から学ぶと共に、成功体験を数多く実感させる。	
★目指す学校像（ビジョン）							
【めざす児童・生徒像】 ① 人と人とのつながりと結びつきを大切にする、やさしさとたくましさをもつ子							
【めざす学校像】 ① 一人一人が輝き、笑顔と明るい声があふれる、明日また来たい学校 ② 周りの変化に気づき、自らすすんで身体を動かし、新しいものを創り出そうとする意欲あふれる学校 ③ 自分の存在を実感し、互いに認め合い、支え合い、自他に感謝しながら、共に学び、働く喜びを感じられる学校							
【めざす教師像】 ① みんなで、五かけ（声・目・手・心・時間をかけろ）、ていねいに ② 前を見て、一歩踏み出そうとする、意志と向上心							
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	成果指標
子供	○互いに尊重し合える豊かな人間関係を構築する。	○集団の一員としての自己有用感やよりよく生きていくための道徳的実践力を育成する。	○道徳の時間を要として、自他の生命を尊重する実践の態度や挨拶・感謝の気持ちを育む授業を計画的に行うとともに、豊かな人間性を育てために、集団の一員としての規範意識や仲間意識を高めていく。	4 1 0 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	3 9 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	・子供たちが、仲良く、楽しく学校生活を送っているようなので、安心している。 ・事あるときは、学校全体で対応をしていただいている。 ・どのクラスも落ち着いている現状が結果として表れている。
				3 9 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	
				2 8 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	1 6 0 %の教員が、互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ。	
				1 互いを尊重し豊かな人間性を重視した授業に取り組んだ教員が、8 0 %未満だった。	1 「よりよく生きていく」とする意識が高まった。」と答えた児童が7 0 %未満だった。	1 「健康であることの大切さ、そのための運動の大切さを教えていく。」	
子供	○望ましい生活習慣を確立し、心身ともに健康な児童を育成する。	○健康に対する意識を高め、自ら体力向上に励む児童を育成する。	○健康や食育に関する授業を意図的に取り入れ、生活の中で実践しながら、健康づくりの基礎を実感できるようにするとともに、心身の調和のとれた発達と体力づくりに関心、体を動かす楽しさを味わう。	4 1 0 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	・健康であったからこそ、充実した学校生活を送ることができる。飛び回って遊ぶことが少なくなった現在、学校でのスポーツや運動の取組が、体力向上につながっている。 ・病気や治療等での保健室の利用者減という結果を、今後も維持されることを期待している。 ・各々の家庭での実践も大切だと思う。 ・健康や食事に関する授業などで、健康・食事について十分学んでいるように思う。健康の大切さについて、子供たちに伝えていけるような授業を取り入れるとよいと思う。 ・健康であることの大切さ、そのための運動の大切さを教えていく。
				3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	1 6 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				1 具体的方策を意図して取り組んだ教員が、8 0 %未満だった。	1 「健康に対する意識が高まった。」と答えた児童が7 0 %未満だった。	1 「健康に対する意識が高まった。」と答えた児童が7 0 %未満だった。	
教職員・学校	○自ら学ぶ意欲をもち、時代の変化や社会の要請に対応できる力を育成する。	○ユニバーサルデザインの視点やICTを活用した授業展開により、基礎的・基本的な知識・技能の習得と豊かな表現力の育成を図る。	○「できる、分かる、学び合う実感」がもたれるような授業実践により、自ら学び、考え、行動する意欲や態度・能力を育てるとともに、体験的活動や問題解決の活動を重視し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。	4 1 0 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	・ICTについては、今後も積極的に活用を図ってほしい。 ・直接その様子を見る機会もなかったが、今年度導入された機器について活用されている具体例がある、さらに評価がしやすいだった。 ・コンピュータの最大の長所は、その創造性なので、調べ、考えるデザインのために用いるのでもったいない。様々な創造性の可能性を追求する授業をするように。
				3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	1 6 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				1 具体的方策を意図して取り組んだ教員が、8 0 %未満だった。	1 「基礎的・基本的な学習内容が定着した。」と答えた保護者が7 0 %未満だった。	1 「基礎的・基本的な学習内容が定着した。」と答えた保護者が7 0 %未満だった。	
教職員・学校	○児童一人一人の教育的ニーズに応じた細やかな支援体制を充実させる。	○幼稚園（保育園）・中学校との学びの連続性を視点に児童理解を深め、個に応じた教育を充実させる。	○支援委員会等での情報交換により、教職員間での共通理解を図りながら、特別な支援が必要な児童への指導に生かすとともに、ユニバーサルデザインに基づく教材教具の工夫と教育環境の整備を図る。	4 1 0 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	・幼・保・中との交流は、縦の関係が少ない中、思いやりの心等が育まれる。 ・「幼保小連携教育推進委員会」が、互いの現場に活用されていくことを期待する。 ・十分対応した教育を行っているように思える。
				3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	1 6 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				1 具体的方策を意図して取り組んだ教員が、8 0 %未満だった。	1 「本校は個に応じた指導に力を入れている。」と答えた保護者が6 0 %未満だった。	1 「本校は個に応じた指導に力を入れている。」と答えた保護者が6 0 %未満だった。	
教職員・学校	○全ての児童が学び楽しさを味わえる授業をデザインする。	○基礎的・基本的な学習を重視するとともに、ICTを活用して、主体的、創造的に学ぶ能力を高める。	○学年に応じた学習習慣を共通理解し、保護者との連携により、徹底を図るとともに、メディア・コーディネータを活用した授業を取り入れ、児童一人一人に分かりやすい授業を展開する。	4 1 0 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	・分かりやすい授業として、ICTを活用した授業を増やしてほしい。 ・活用例をいくつか紹介してもらって、より評価がしやすい。 ・保護者がICTを理解してもらうためには、ICTとは何かということを伝えていけば、さらにICTに関する理解をのびていくことができる。
				3 9 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	3 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				2 8 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	2 7 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	1 6 0 %の教員が、具体的方策を意図して取り組んだ。	
				1 具体的方策を意図して取り組んだ教員が、8 0 %未満だった。	1 「ICTを活用した授業が分かりやすい。」と答えた児童は7 0 %未満だった。	1 「ICTを活用した授業が分かりやすい。」と答えた児童は7 0 %未満だった。	
学校・家庭・社会	○「本物」を体験・体感できる機会を設定することで、児童の学習意欲を高めるとともに、探究的に学ぶ力を育成する。	○他者とのかわりを通して、コミュニケーション能力の向上を図り、課題の発見と解決に向けた主体的、協働的な学習に取り組む。	○地域のボランティア活動等の社会体験や農業体験、伝統文化と融合した活動から、地域に対する理解を深めるとともに、各種の出前授業等を活用し、児童の興味や創造性、豊かな感性を育成する。	4 1 0 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	3 9 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	2 8 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	・様々な分野の専門家を講師として招請し、体験や経験を重視した「出前授業」を行い、よい学習の機会となった。児童の心に残るものも多く、さらに学校Webサイト等で紹介することにより、さらに一層の価値付けが図られ、保護者の評価も大変高かった。 ・知識や技能の伝達のみでなく、基礎的・基本的な学力をベースとした上で本物体験を実施している。 ・各教科等の年間指導計画での明確な位置付け、意図的・計画的な学習活動に結びつけていくこと等が今後の課題である。
				3 9 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	3 8 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	2 7 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	
				2 8 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	2 7 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	1 6 0 %の教員が、「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回以上実施した。	
				1 「本物」を体験・体感できる授業を学期に1回実施した教員が、8 0 %未満だった。	1 「探究的に学ぶ力が高まった。」と答えた児童が7 0 %未満だった。	1 「探究的に学ぶ力が高まった。」と答えた児童が7 0 %未満だった。	
学校・家庭・社会	○芸術・スポーツ等自らのよさや個性を伸ばす活動を推進する。	○年間を通して体験的な学習を重視し、自らの夢の実現に向けて、挑戦しようとする活動に取り組む。	○豊かな自然や人とのつながりを大切にした生き方を学ぶ授業を推進するとともに、選挙権・選挙権決定や読書週間、スポーツ大会等に積極的に挑戦し、すすんで自らを高めようとする児童を育成する。	4 1 0 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	3 9 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	2 8 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	・児童自らの学力向上等に進んで挑戦しようとする気持ちや、年間を通していろいろなことを体験させていると思う。 ・児童数が少ない割には、芸術・スポーツ等に関する多くのことに挑戦しているように思える。強制ではないが、先生方から参加・申込等のプリントを配る際に、やってみようかなと思えるような一言を伝えてもらえたら、さらに挑戦する児童が増えるのではないだろうか。
				3 9 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	3 8 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	2 7 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	
				2 8 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	2 7 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	1 6 0 %の教員が、生き方を学ぶ授業を学期に1回以上実施した。	
				1 生き方を学ぶ授業を学期に1回実施した教員が、8 0 %未満だった。	1 「自分のよさを発揮しようとする活動に取り組んだ。」と答えた。	1 「自分のよさを発揮しようとする活動に取り組んだ。」と答えた。	
学校・家庭・社会	○地域・社会の一員として、体験を通して豊かな感性を育む。	○子供の居場所や遊び場の確保を図り、学校に対する理解と愛着を深める。	○学校の教育活動に対する理解と協力が得られるよう、学校Webサイトや学年・学級通信を通して積極的に情報発信をするとともに、保護者や地域の方々の教育活動への参加を促進し、学校・家庭・地域とで子供を包み込む環境づくりを築く。	4 1 0 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	3 9 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	2 8 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	・保護者も含め、地域との関わりは必要だと思う。 ・地域（自治会）行事への参加についても、学校を核とするように、学校と家庭・子供と地域がよりつながるのではないかと。 ・中田小の子供であるというよりも、日野市の子供と共に育てるという気持ちで、それらが協力的に感じられている。
				3 9 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	3 8 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	2 7 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	
				2 8 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	2 7 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	1 6 0 %の教員が、積極的に情報発信に努めた。	
				1 積極的に情報発信に努めた教員が、8 0 %未満だった。	1 「学校や地域の教育活動に参加した。」と答えた保護者は7 0 %未満だった。	1 「学校や地域の教育活動に参加した。」と答えた保護者は7 0 %未満だった。	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。